



報道関係者各位

毛髪診断コンソーシアム

毛髪に蓄積された健康データ集積に向けた 毛髪提供・アンケート調査の協力者募集を開始

平素は、格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

2017年12月27日に実施いたしました、「『毛髪診断コンソーシアム』の設立と共同研究の開始について」の報道発表では、報道関係の皆様にご支援をいただきまして誠にありがとうございました。報道発表後に、複数の企業からの参画申込みや、個人の方からの毛髪の提供希望のお問合せ、経済界、公的機関からの取材・記事掲載もあり、社会的な反響をいただきました。

さてこの度、大規模解析として、毛髪の提供および健康情報のアンケート調査に広く一般の方々よりボランティアとしてご協力いただくための募集を開始いたしました。

毛髪診断コンソーシアムは、理化学研究所エンジニアリングネットワーク「毛髪診断プロジェクト」^{*1}と連携して、毛髪に蓄積される健康指標や疾患指標による新たな非侵襲型診断システムの確立に向け、科学的なエビデンスに基づくビッグデータの構築を目指しています。

毛髪を活用した健康計測は、世界に先駆けて、日本発のウェルネスイノベーションとして科学的な指標に基づく国民の健康管理に貢献すると共に、日本の新規産業の発展につながることを期待されます。

これまで1年半をかけて、科学的に毛髪の形態を解析する方法や、毛髪の組成情報（アミノ酸、ミネラル、脂質、ホルモン）のデータの取得方法を確立し、小規模のフィージビリティスタディにより健康指標となるマーカーの探索、ビッグデータの構築に向けた体制整備を行ってまいりました。

この度、健常者を対象とした大規模解析とそのデータ構築を目的として、研究のためのボランティア3,000名を広く一般の方々から募集することといたしました^{*2}。ご提供いただいた毛髪から形態解析を実施すると共に、その一部の毛髪について組成解析を実施いたします（解析内容により解析数は異なることがあります）。これらのデータをもとに、ヘルスケア、未病、医療に関わる指標を構築することにより、現在の健康診断に加えた新たな診断方法を確立することを目指します。



<本件に関するお問い合わせ先>

■毛髪診断コンソーシアム事務局 株式会社オーガンテクノロジーズ
担当：078-569-8843、consortium-office@organ-technol.co.jp



毛髪診断コンソーシアムの活動について

1. 背景

我が国は、世界最高水準の平均寿命を達成し、2018年の高齢化率は28.1%にまで上昇、2065年には38.4%に達することが予想されています（令和元年版高齢社会白書、内閣府）。そのため日本は、健康長寿社会の解決に向けた世界的なモデルになると考えられおり、世界最先端の医療や早期診断システム、健康サービスなど高付加価値型の産業の創出（日本再興戦略2016、内閣府）、生活習慣病や認知症の予兆を発見できるバイオマーカー・リスクマーカーの研究・開発の促進（未来投資戦略2017、内閣府）、次世代ヘルスケア・システムの構築（未来投資戦略2018、内閣府）が国策として位置づけられています。これまで健康診断として、「採血検査」や「尿検査」、測定器を使う「血圧測定」は既に確立され、広く普及している検査手法です。一方、これらの診断は直前の食事内容や水分摂取量によって大きく変動し、血圧では簡易診断ができますが、検査する時点での運動状態などに大きく影響を受けるため、これらの検査方法は、不安定なデータともいわれています。また健康診断は、病気の診断にも活用されているものの、病院や検診センターに行く必要もあるなどの課題があります。そのため、日常的な健康状態の維持に向けて、科学的な根拠に基づき、痛みなく、安定した健康管理の指標とその仕組みづくりが長らく期待されてきました。

2. 意義

本コンソーシアムは、国立研究開発法人理化学研究所・生命機能科学研究センターの辻孝チームリーダーの構想の下、科学的根拠に基づく製品やサービスの開発に共鳴した企業群が、互いにもつ技術や知見をそれぞれの企業の枠を超えて結集した日本発のオープンイノベーションです。このオープンイノベーション構想により、日本から世界標準となりうる健康指標のデータベースを確立するだけでなく、時に創発しながら社会還元のための事業開発にも取り組みます。ヘアケアや健康維持、病気の予兆をとらえ、生活習慣、食生活、サプリメントなどの健康食品などの改善提案をし、その効果を実証できるような、測定機器や情報システム、個別健康サービスの開発を進めます。

3. 体制

毛髪診断システムの構築に向けて理化学研究所を含む18機関の共同研究体を組成し、理化学研究所エンジニアリングネットワーク「毛髪診断プロジェクト」と連携して、小規模での探索研究から大規模のビッグデータの構築を目指すと共に、小規模で各種疾病について解析を行い早期診断につながるマーカーの探索を開始しています。世界最先端の分析・解析技術を有する研究者との連携を進め、学術的にも価値ある探索研究を進めるとともに、これを民間企業群が社会実装していくシームレスな体制が構築されています。

幹事法人：株式会社アデランス、株式会社オーガンテクノロジーズ、ヤフー株式会社

参画法人：株式会社アジュバンコスメジャパン、京セラ株式会社、株式会社コンピュータ技研、株式会社島津製作所、ダイキン工業株式会社、東ソー株式会社、日本生命保険相互会社

助言法人：NECソリューションイノベータ株式会社、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構、太陽生命保険株式会社、三井物産株式会社、他3社

4. 補足とご参考

※1 理化学研究所エンジニアリングネットワーク

理化学研究所の学際性を発揮しやすい環境を活用し、組織横断的に最先端の科学・技術を糾合する事で、複雑化する社会課題の解決や革新的な技術の開発に向けた研究を推進する仕組み。

※2 本研究は、謝礼や分析結果を個別にご提供するものではありません。

2017年12月27日プレスリリース

「毛髪診断コンソーシアム」の設立と共同研究の開始について

<http://www.organ-technol.co.jp/news/20180207/265.html>

毛髪診断コンソーシアムホームページ

<https://www.hair-diagnostic-consortium.jp>

